

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学整形外科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2023年 10月

福島県立医科大学医学部整形外科学講座 横田武尊

■ 研究課題名

内視鏡下屈筋腱縫合の新規手術法開発：献体を用いた研究

■ 研究期間

2023年10月 ～ 2026年3月

■ 研究の目的・意義

献体を用いて内視鏡下屈筋腱縫合の実現可能性について評価することが目的です。

整形外科領域の外傷である腱の損傷（屈筋腱損傷）に対し、小さな切開で内視鏡を用いることで通常の手術より低侵襲な再建方法を探索し、臨床導入を目指すために、この献体を用いた検討は必要不可欠です。

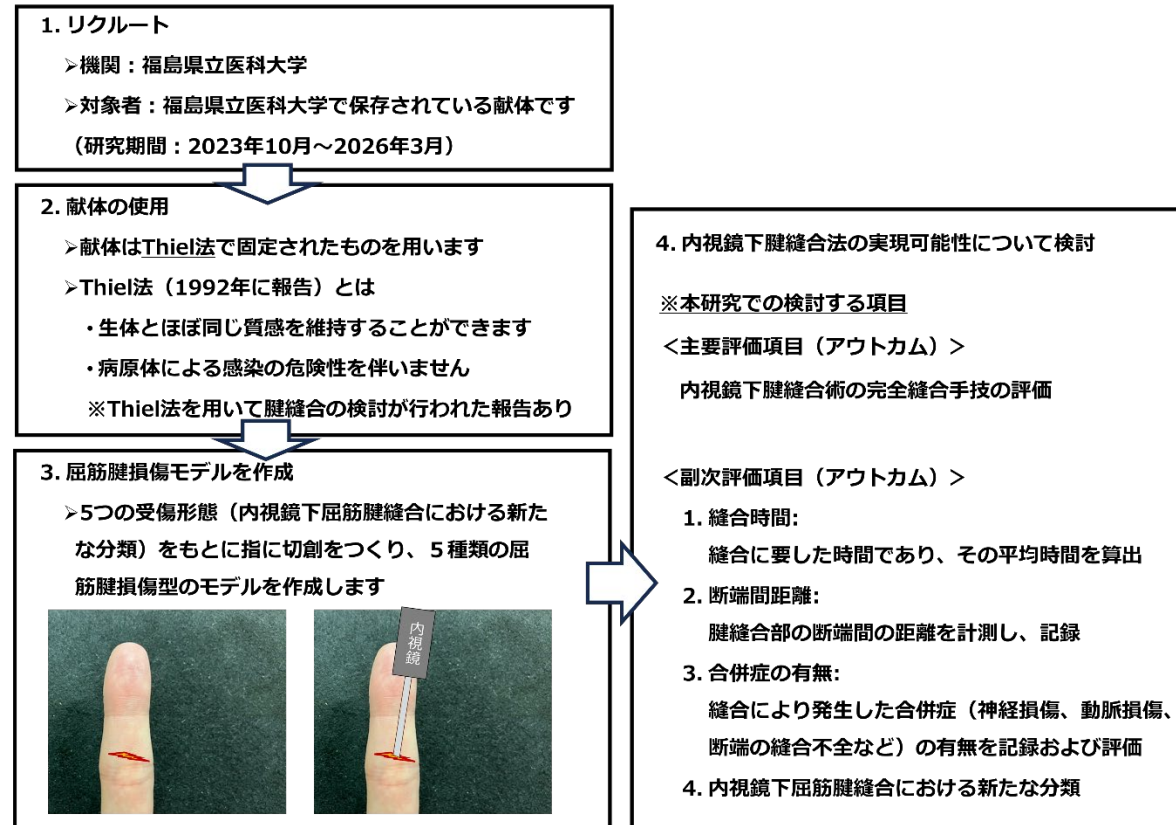
■ 研究対象となる方

- ・福島県立医科大学の志らぎく会へ提供された献体遺体が本研究の対象です。

■ 研究の方法

- 本研究では、屈筋腱損傷モデルに対して、小さな切開から内視鏡を挿入して腱を縫合する方法を開発するための研究を行います。
- 実際の屈筋腱損傷を模したモデル作成し、小型内視鏡を用いて、①腱鞘内の腱断端を探索、②腱断端を確保、③屈筋腱縫合を実施します。
- 以下の研究のシェーマに基づき内視鏡下屈筋腱縫合の実現可能性について評価します。

献体を用いた研究



※内視鏡下屈筋腱縫合における新たな分類について

- 手指の屈筋腱損傷は、その部位や程度に応じて異なる臨床病期や分類が存在します。これは屈筋腱損傷の部位を領域（zone）で分けて指すものであり、損傷部位が属するzoneにより治療法や予後が大きく異なります。
- 内視鏡下で屈筋腱縫合を行うにあたっては、従来の zone 分類ではなく、屈筋腱の再建法の違いをもとに zone 分類を修正する必要があると考えました。
- 分類ごとに内視鏡下腱縫合の適応について考察し、提示します。
- 本研究では、zone 分類で I と II と分類されていた領域をさらに I a, I b, II a, II b, II c に細分化しました。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2023年11月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学整形外科学講座であり、研究責任者は整形外科学講座 横田武尊です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学整形外科学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

該当なし

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者の代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部整形外科学講座 担当：横田 武尊

電話：024-547-1223 FAX：024-547-5505

e-mail：fortho@fmu.ac.jp